

はじめに

「肉用牛生産における温室効果ガス（GHG）削減可視化システム構築事業」で作成した『知見集』からの情報提供

全国肉牛事業協同組合は、全国の千名を超える肉用牛生産者等で組織する、事業協同組合です。気候変動問題が著しくクローズアップされ、令和3年頃、「肉用牛が地球を壊す」、「地球環境を守るため、学校給食での牛肉提供をやめて代替肉を提供する事業を組む」などとの声が相次ぎ、肉用牛生産に対する厳しい逆風が吹き荒れました。

これらの声に対しては、日本の炭酸ガス換算インベントリのうち、畜産由来は1パーセント程度とされているものの、肉用牛生産者らも可能なところからGHG排出削減に取り組みつつ、科学的根拠に基づいて説明を続けることが重要であると判断し、日本中央競馬会のご支援のもと、『肉用牛生産におけるGHG削減可視化システム構築事業』（令和4～6年度）に取り組み、各年度『知見集』作成しました。

『知見集』には、諸先生方から貴重な投稿を寄せて頂きましたことから、デジタル化して広く国民に知っていただくことが重要と考えておりました。

このたび、全国肉用牛振興基金協会のご好意により、持続可能な肉用牛生産に関する多くの知見を集積されているホームページに掲載していただくことになり、3か年間の知見集の一部を再編集致しました。肉用牛のGHG排出削減の取組に係る関係各位におかれましては、これらの科学的知見を執務のご参考にご利用いただければ幸甚でございます。

むすびに、予算的にご支援を頂きました日本中央競馬会並びに全国競馬・畜産振興会、執筆を頂きました諸先生方、技術的なご指導を頂きました農研機構の諸先生方、事業推進にご協力頂きました協力会社、そしてホームページ掲載を快諾いただきました全国肉用牛振興基金協会に心より御礼を申し上げたいと存じます。

畜産 GHG 知見集編集会議